



2023年度 電気機器の見通し

2023年3月15日

一般社団法人日本電機工業会

1. 経済の概況

2. 2022年度の見込み

2-1 重電機器分野

2-2 白物家電機器分野

3. 2023年度の見通し

3-1 重電機器分野

3-2 白物家電機器分野

■ 参考資料

1. 経済の概況

(1) 海外

- 新型コロナウイルスによる行動制限は緩和に向かい、世界経済は正常化に向けて動いているものの、物価上昇に対処するための中央銀行による利上げと、ロシアのウクライナ侵攻が引き続き、経済活動の重しとなっている
- IMFの世界経済見通し(2023年1月改訂見通し)では、世界経済の2022年の実質成長率は+3.4%、2023年は+2.9%に留まる
- 一方で、景気先行きの不透明感が増す中でも、企業の設備投資に底堅さがある

(2) 国内

- 国内もコロナ禍から緩やかに持ち直しており、個人消費や企業収益など内需主導の回復が続く。企業の設備投資は底堅く、サプライチェーンの混乱も解消に向かっている
- 上記のように国内経済は緩やかに成長するものと見通しているが、更なる物価上昇や、世界経済の減速などによる下押し要因が懸念される

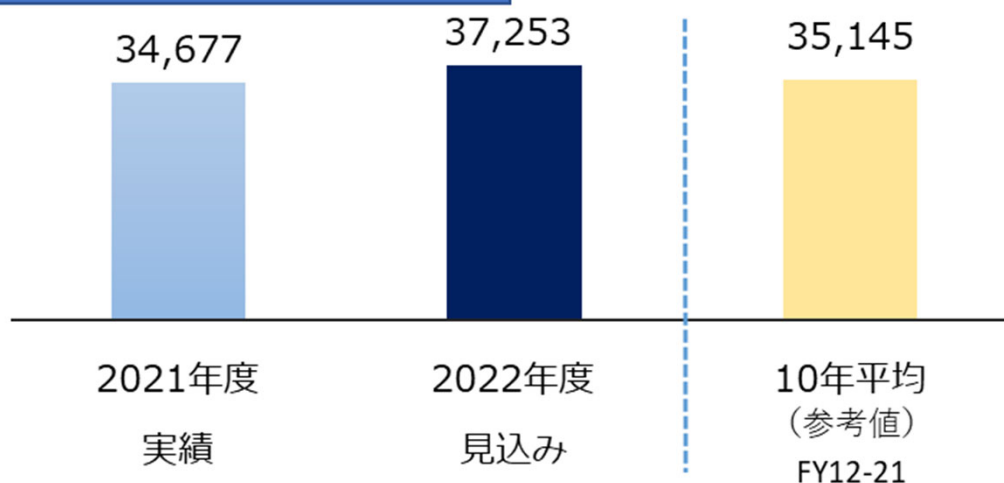
2. 2022年度の見込み

2-1 重電機器 概況



重電機器 2022年度 国内生産見込み 3兆7,253億円（前年度実績比107.4%）

重電機器 国内生産金額（億円）



- 国内電力及び海外電力向けの大型案件があり発電用原動機が前年度を大幅に上回る
- 国内、海外ともに半導体、電子部品産業向けの設備投資拡大
- 産業分野全般の設備投資も国内、海外ともに回復
- 一方で、依然として部材不足の影響が継続しているが、状況は徐々に改善に向かっている

単位：億円、%	21年度 実績	22年度 見込み	前年度 実績比
重電機器 国内生産	34,677	37,253	107.4

【備考】

1. 国内生産実績は、経済産業省「生産動態統計調査」による
2. 国内生産見込みは、JEMAが策定した

2-1 2022年度 国内生産見込み（重電機器）



(単位:億円、%)	2021年度 実績	2022年度 見込み	前年度 実績比
重電機器合計(1+2+3+4)	34,677	37,253	107.4
1.発電用原動機計	4,132	5,435	131.5
ボイラ	2,120	2,411	113.8
蒸気タービン	407	779	191.6
ガスタービン	1,606	2,245	139.8
2.回転電気機械計	10,044	10,237	101.9
うち交流電動機	3,535	3,975	112.4
うちサーボモータ	1,095	1,179	107.7
3.静止電気機械器具計	5,944	6,479	109.0
うち変圧器	2,185	2,349	107.5
うち電力変換装置	3,013	3,364	111.6
うちサーボアンプ	1,039	1,122	108.0
4.開閉制御装置・開閉機器計	14,557	15,102	103.7
うち監視制御装置	2,228	2,236	100.4
うち低圧開閉器・制御機器	5,399	5,861	108.6
うちプログラマブルコントローラ	1,115	1,328	119.0

備考 1: 国内生産実績は、経済産業省「生産動態統計」による

2022年度見込みは、JEMAが策定した

2: .端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある

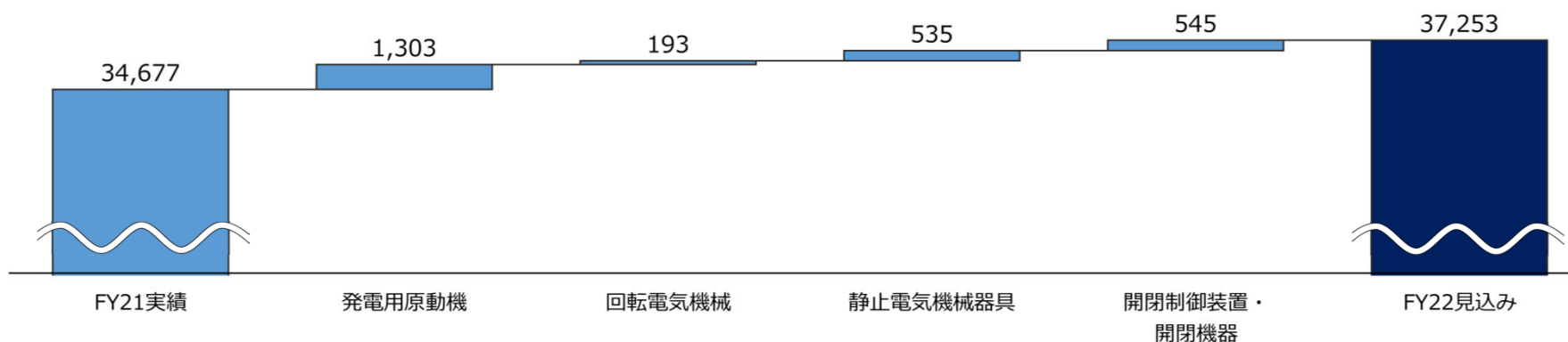
3: .内訳詳細データについては、別紙「2023年度 電気機器の見通し資料」をご参照

2-1 2022年度 国内生産見込み 増減内訳（重電機器）



2022年度 国内生産見込み 増減内訳

単位：億円

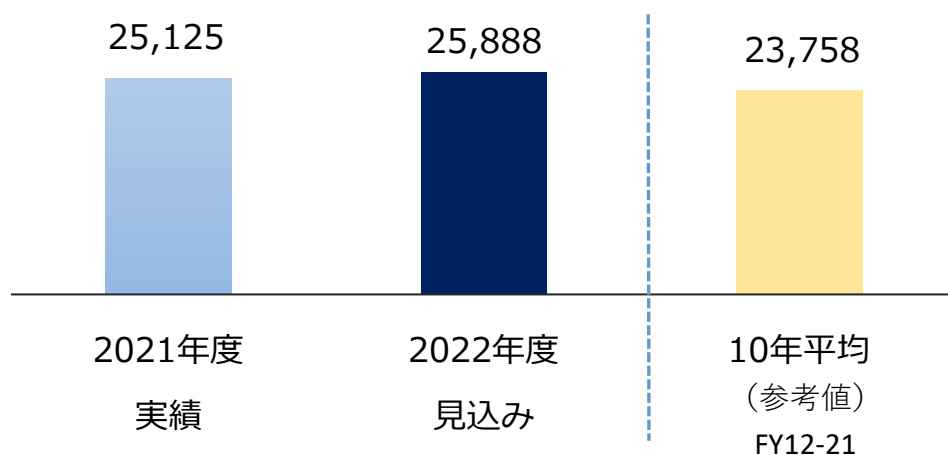


主な増減要因	
発電用原動機	<ul style="list-style-type: none"> ボイラと蒸気タービンは国内電力、ガスタービンは海外電力向けの大型案件があり前年度を大幅に上回る見込み
回転電気機械	<ul style="list-style-type: none"> 交流電動機は、国内設備投資が堅調であり、前年度を上回る見込み サーボモータは、国内を中心に半導体、電子部品産業向けが拡大し、前年度を上回る見込み
静止電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 変圧器は、国内電力向けが増加し、前年度を上回る見込み 電力変換装置は、内訳のサーボアンプがサーボモータと同様に増加し、前年度を上回る見込み
開閉制御装置・開閉機器	<ul style="list-style-type: none"> 監視制御装置は、国内製造業向けが堅調であり、前年度並みの見込み 低圧開閉器・制御機器は、プログラマブルコントローラが輸出を中心に半導体、電子部品産業向けが拡大し、前年度を上回る見込み

2-2 白物家電機器 概況

白物家電機器 2022年度 国内出荷見込み 2兆5,888億円 (前年度実績比103.0%)

白物家電機器 国内出荷金額 (億円)



- 原材料・輸送費の高騰や、消費者の高付加価値製品志向により製品単価が上昇しており、国内出荷金額を押し上げている
- 一方、消費全般における物価高騰が購買意欲を抑制し、国内出荷数量は減少傾向
- 国内出荷金額は直近の10年平均（2兆3,758億円）を大幅に上回り、高水準となる見込み

単位：億円、%	21年度 実績	22年度 見込み	前年度 実績比
白物家電機器 国内出荷	25,125	25,888	103.0

【備考】

1. 国内出荷実績は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）による
2. 国内出荷見込みは、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）をベースにJEMAが策定した

2-2 2022年度 国内出荷見込み（白物家電機器）

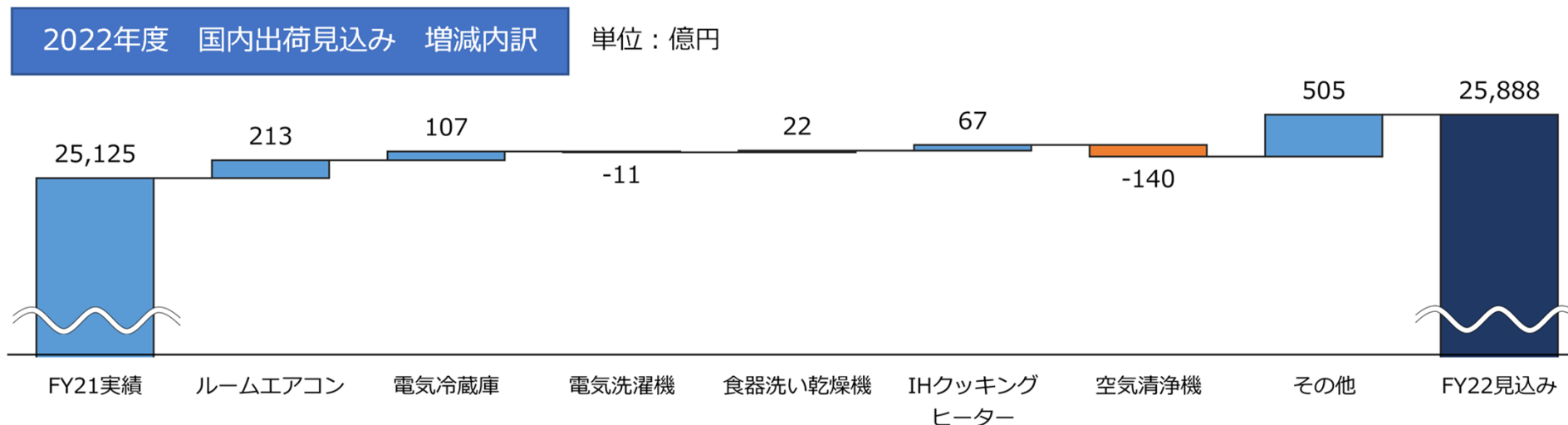


(単位: 億円、%)	2021年度 実績	2022年度 見込み	前年度 実績比
白物家電機器合計	25,125	25,888	103.0
ルームエアコン	7,591	7,804	102.8
電気冷蔵庫	4,420	4,527	102.4
電気洗濯機	3,947	3,935	99.7
食器洗い乾燥機	477	498	104.5
IHクッキングヒーター	744	811	109.0
空気清浄機	753	614	81.5
その他(上記品目以外)	7,193	7,698	107.0

【備考】

- 1: 国内出荷実績は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)による
- 2: 国内出荷見込みは、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)をベースにJEMAが策定した
- 3: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合がある
- 4: 内訳詳細データについては、別紙「2023年度 電気機器の見通し資料」をご参照

2-2 2022年度 国内出荷見込み増減内訳（白物家電機器）



主な増減要因	
ルームエアコン	<ul style="list-style-type: none"> 上期前半は上海ロックダウンの影響を受けたものの、6月後半から7月上旬の記録的な猛暑の後押しもあり、前年度を上回る見込み
電気冷蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> 全国的な暑さの後押しもあり、前年度を上回る見込み
電気洗濯機	<ul style="list-style-type: none"> 上期前半は上海ロックダウンの影響を受けた。解除後は出荷が伸長したものの、前年度を下回る見込み
食器洗い乾燥機 IHクッキングヒーター	<ul style="list-style-type: none"> リフォーム需要および製品単価の上昇から、前年度を上回る見込み
空気清浄機	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスによる特需からコロナ前の基調に戻り、前年度を下回る見込み

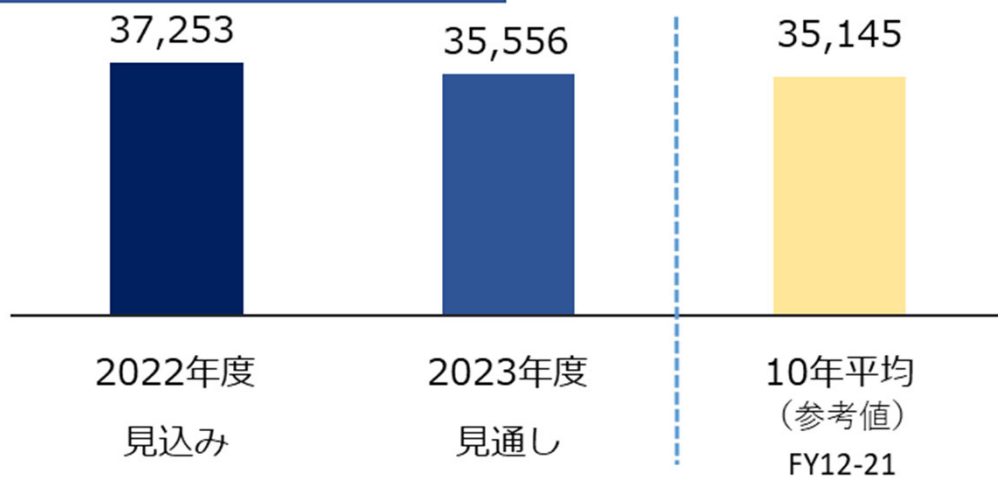
3. 2023年度の見通し

3-1 重電機器 概況



重電機器 2023年度 国内生産見通し 3兆5,556億円 (前年度見込比95.4%)

重電機器 国内生産金額 (億円)



- 前年度に大型案件が集中した反動により、発電用原動機が前年度を大幅に下回る見通し
- 世界的な半導体、電子部品産業向けの設備投資は引き続き拡大
- 産業分野全般の設備投資も国内、海外ともに緩やかな増加傾向が継続
- 部材不足の影響は継続しているが、状況は改善に向かっている

単位：億円、%	22年度 見込み	23年度 見通し	前年度 見込比
重電機器 国内生産	37,253	35,556	95.4

【備考】国内生産見込み、見通しは、JEMAが策定した

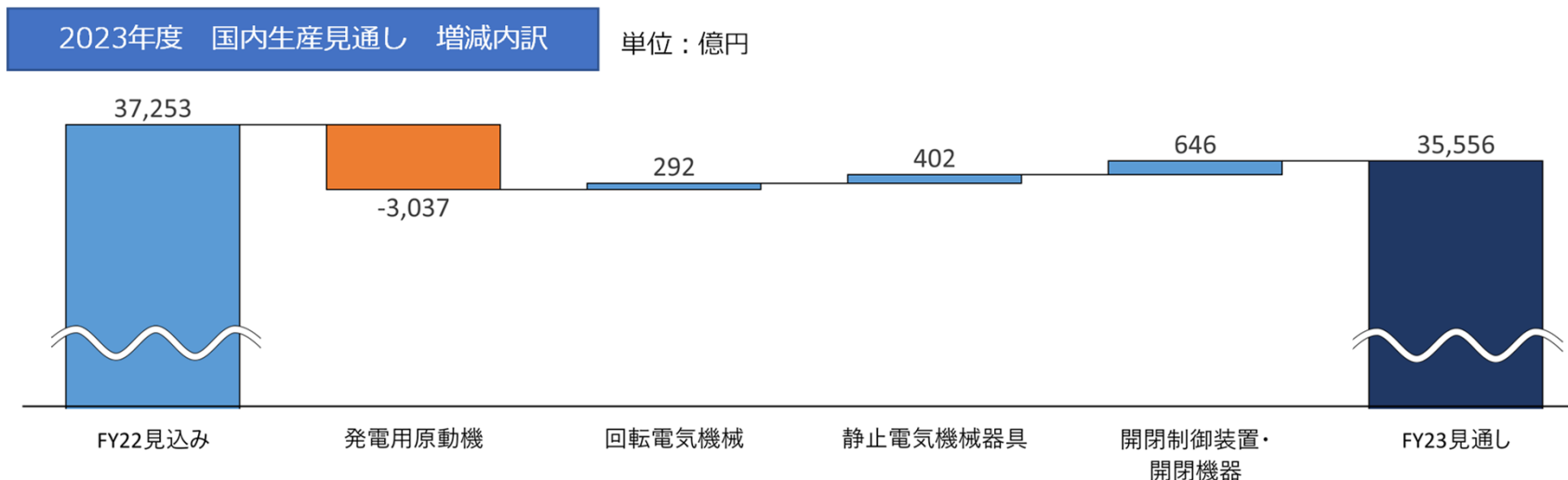
3-1 2023年度 国内生産見通し（重電機器）



(単位:億円、%)	2022年度 見込み	2023年度 見通し	前年度 見込比
重電機器合計(1+2+3+4)	37,253	35,556	95.4
1.発電用原動機計	5,435	2,398	44.1
ボイラ	2,411	974	40.4
蒸気タービン	779	604	77.6
ガスタービン	2,245	820	36.5
2.回転電気機械計	10,237	10,529	102.8
うち交流電動機	3,975	4,082	102.7
うちサーボモータ	1,179	1,214	102.9
3.静止電気機械器具計	6,479	6,881	106.2
うち変圧器	2,349	2,516	107.1
うち電力変換装置	3,364	3,589	106.7
うちサーボアンプ	1,122	1,155	102.9
4.開閉制御装置・開閉機器計	15,102	15,748	104.3
うち監視制御装置	2,236	2,344	104.8
うち低圧開閉器・制御機器	5,861	6,056	103.3
うちプログラマブルコントローラ	1,328	1,370	103.2

- 備考 1: 国内生産実績は、経済産業省「生産動態統計」による
 2022年度見込み、2023年度見通しは、JEMAが策定した
 2: 端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある
 3: 内訳詳細データについては、別紙「2023年度 電気機器の見通し資料」をご参照

3-1 2023年度 国内生産見通し 増減内訳（重電機器）

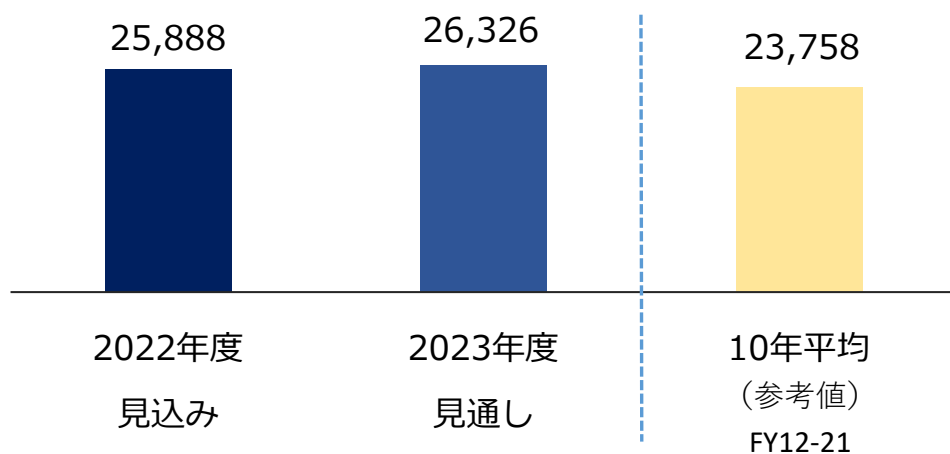


主な増減要因	
発電用原動機	<ul style="list-style-type: none"> ボイラ、蒸気タービン、ガスタービンは、前年度に大型案件が集中した反動もあり、国内、輸出共に前年度を大幅に下回る見通し
回転電気機械	<ul style="list-style-type: none"> 交流電動機は、前年度に引き続き国内設備投資が堅調であり、前年度を上回る見通し サーボモータは、国内、輸出ともに半導体、電子部品産業向けが拡大し、前年度を上回る見通し
静止電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 変圧器は、前年度に引き続き、国内電力向けが増加し、前年度を上回る見通し 電力変換装置は、内訳のサーボアンプがサーボモータと同様に増加し、前年度を上回る見通し
開閉制御装置・開閉機器	<ul style="list-style-type: none"> 監視制御装置は、前年度に引き続き、国内製造業向けが堅調であり、前年度を上回る見通し 低圧開閉器・制御機器は、前年度に引き続き、プログラマブルコントローラが国内、輸出ともに半導体、電子部品産業向けが拡大し、前年度を上回る見通し

3-2 白物家電機器 概況

白物家電機器 2023年度 国内出荷見通し 2兆6,326億円 (前年度見込比101.7%)

白物家電機器 国内出荷金額 (億円)



- 高付加価値製品のニーズに加え、原材料価格の高騰による製品単価の上昇が継続し、国内出荷金額は前年度を上回る見通し
- 外出機会の増加やサービス消費へのシフトが見込まれるものの、買い替え需要は堅調に推移

単位：億円、%	22年度 見込み	23年度 見通し	前年度 見込比
白物家電機器 国内出荷	25,888	26,326	101.7

【備考】

1. 国内出荷実績は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）による
2. 国内出荷見込み、見通しは、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）をベースにJEMAが策定した

3-2 2023年度 国内出荷見通し（白物家電機器）



(単位:億円、%)	2022年度 見込み	2023年度 見通し	前年度 見込比
白物家電機器合計	25,888	26,326	101.7
ルームエアコン	7,804	7,895	101.2
電気冷蔵庫	4,527	4,643	102.6
電気洗濯機	3,935	3,977	101.1
食器洗い乾燥機	498	534	107.2
IHクッキングヒーター	811	837	103.1
空気清浄機	614	649	105.7
その他(上記品目以外)	7,698	7,791	101.2

【備考】

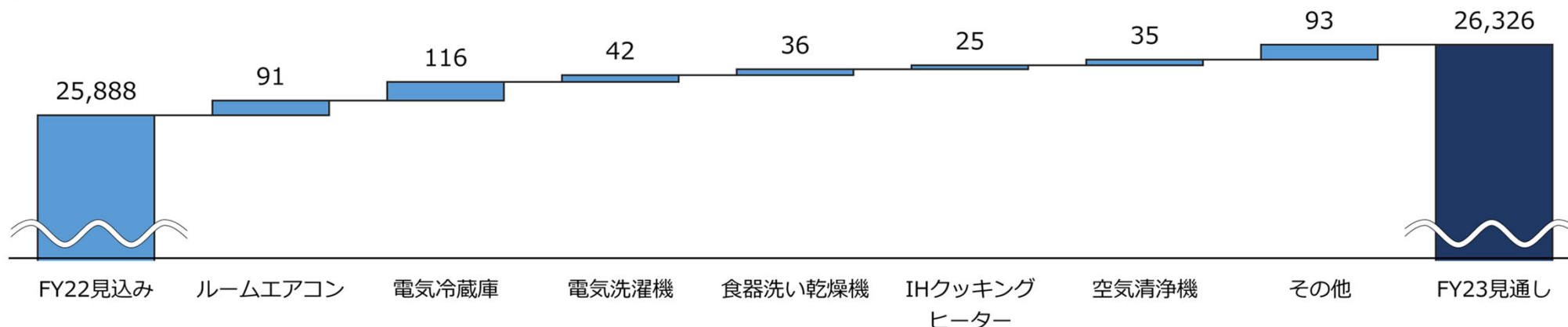
- 1: 国内出荷実績は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)による
- 2: 国内出荷見込み、見通しは、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)をベースにJEMAが策定した
- 3: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合がある
- 4: 内訳詳細データについては、別紙「2023年度 電気機器の見通し資料」をご参照

3-2 2023年度 国内出荷見通し 増減内訳（白物家電機器）



2023年度 国内出荷見通し 増減内訳

単位：億円

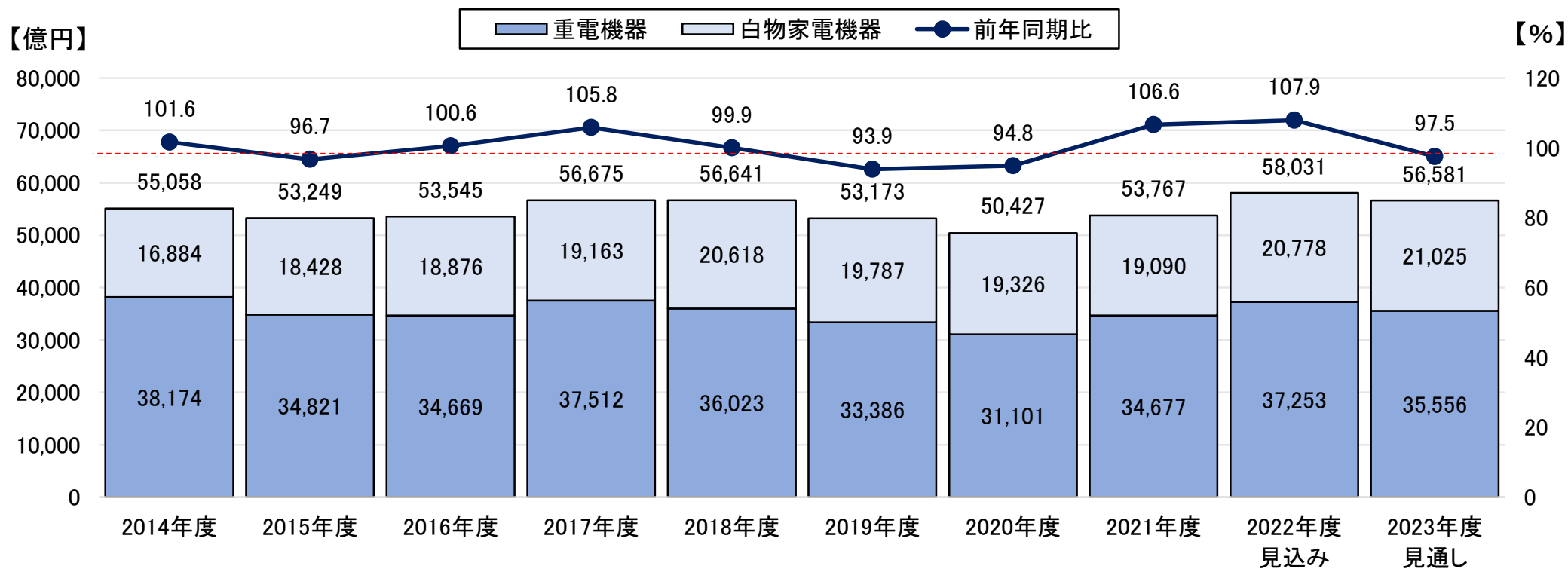


主な増減要因	
ルームエアコン 電気冷蔵庫 電気洗濯機	<ul style="list-style-type: none"> 原材料・輸送費などの高騰による製品単価の上昇により、国内出荷金額はいずれも前年度を上回る見通し 一方、堅調な買い替え需要に支えられつつも、物価上昇による消費マインドの冷え込みが懸念されるものの、数量ベースでは前年度並みとなる見通し
食器洗い乾燥機 IHクッキングヒーター	<ul style="list-style-type: none"> リフォーム需要が見込まれるため、前年度を上回る見通し
空気清浄機	<ul style="list-style-type: none"> コロナ前の基調に戻りつつも、室内の空気質への関心は高いことから、前年度を上回る見通し



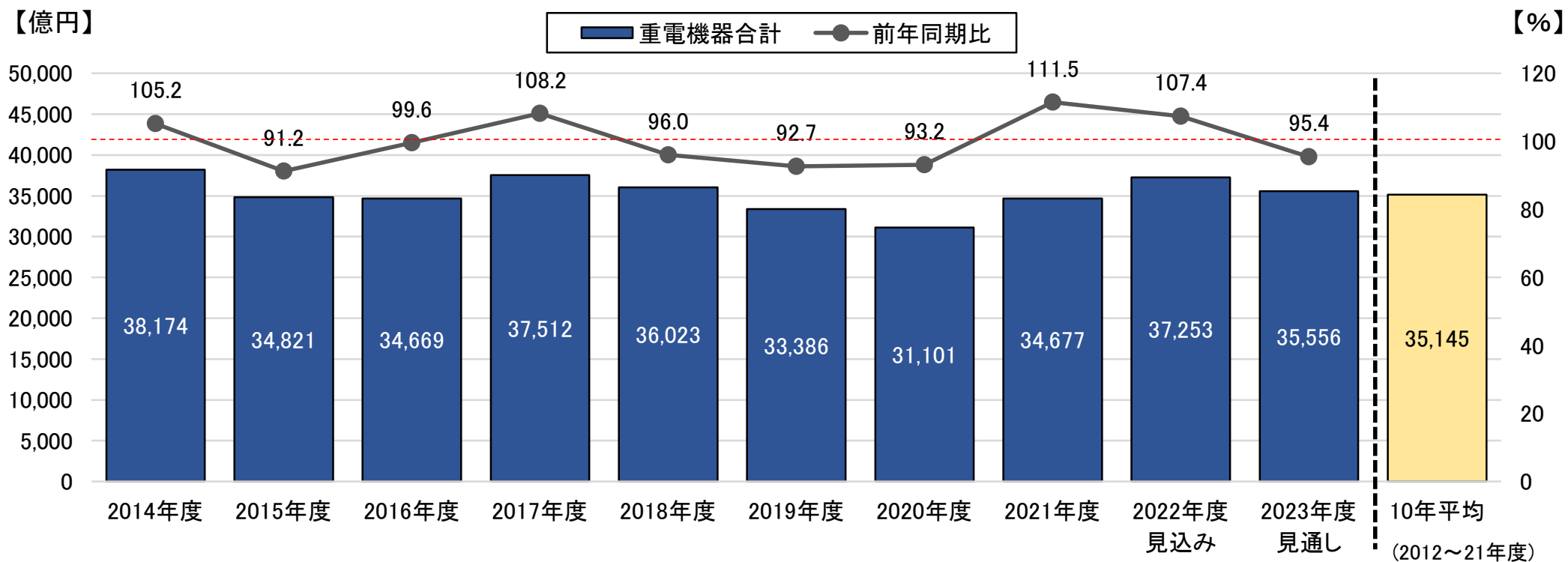
參考資料

1. 【電気機器】国内生産額推移－年度別



【出所】実績：経済産業省 生産動態統計／見込み・見通し：JEMA統計

2. 【重電機器】国内生産額推移－年度別



【出所】実績：経済産業省 生産動態統計／見込み・見通し：JEMA統計

3. 【重電機器】国内生産額 見込み/見通し – 生産分類別



経済産業省 生産動態統計の品目を、JEMAが受注形態別に「受注生産品」と「産業用汎用電気機器」に分けて分類しました

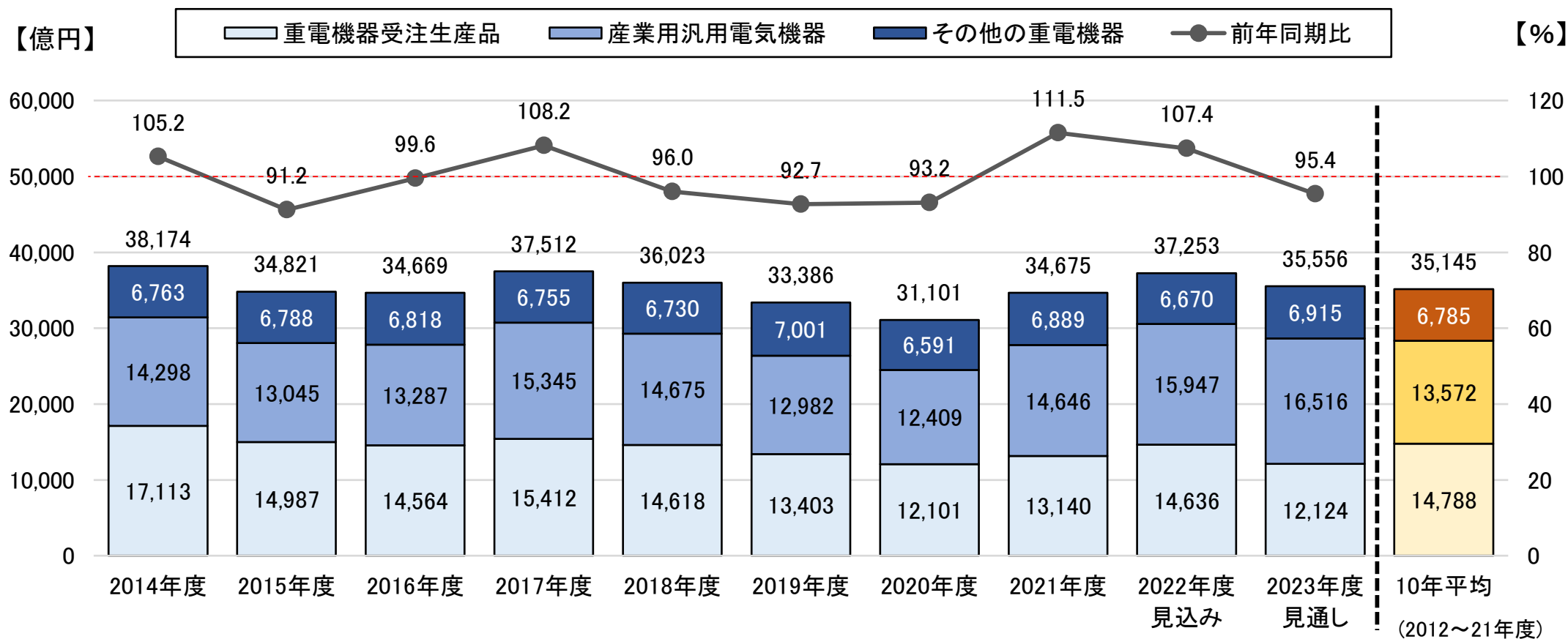
(単位:億円、%)	2022年度 見込み		2023年度 見通し	
	金額	前年度実績比	金額	前年度見込比
重電機器合計	37,253	107.4	35,556	95.4
受注生産品*1	14,636	111.4	12,124	82.8
発電用原動機	5,435	131.5	2,398	44.1
電力・産業向け電気設備	9,201	102.1	9,727	105.7
産業用汎用電気機器*2	15,947	108.9	16,516	103.6
その他の重電機器*3	6,670	96.8	6,915	103.7

出所: 経済産業省 生産動態統計/見込み・見通しはJEMAが策定

- * 1 受注生産品: 発電用原動機(蒸気・ガスタービン等)、発電機、大容量変圧器等
電力及び産業用(自動車、鉄鋼等)向けの電気設備
- * 2 産業用汎用電気機器: 汎用インバータ、サーボモータ、プログラマブルコントローラ等
需要先が多岐にわたる、主に標準仕様で生産する量産品
流通は代理店経由が多い
- * 3 その他の重電機器: 電気炉、電気溶接機、分電盤等
機器としては重電機器受注生産品または産業用汎用電気機器であるが、
データとして分類できない機器

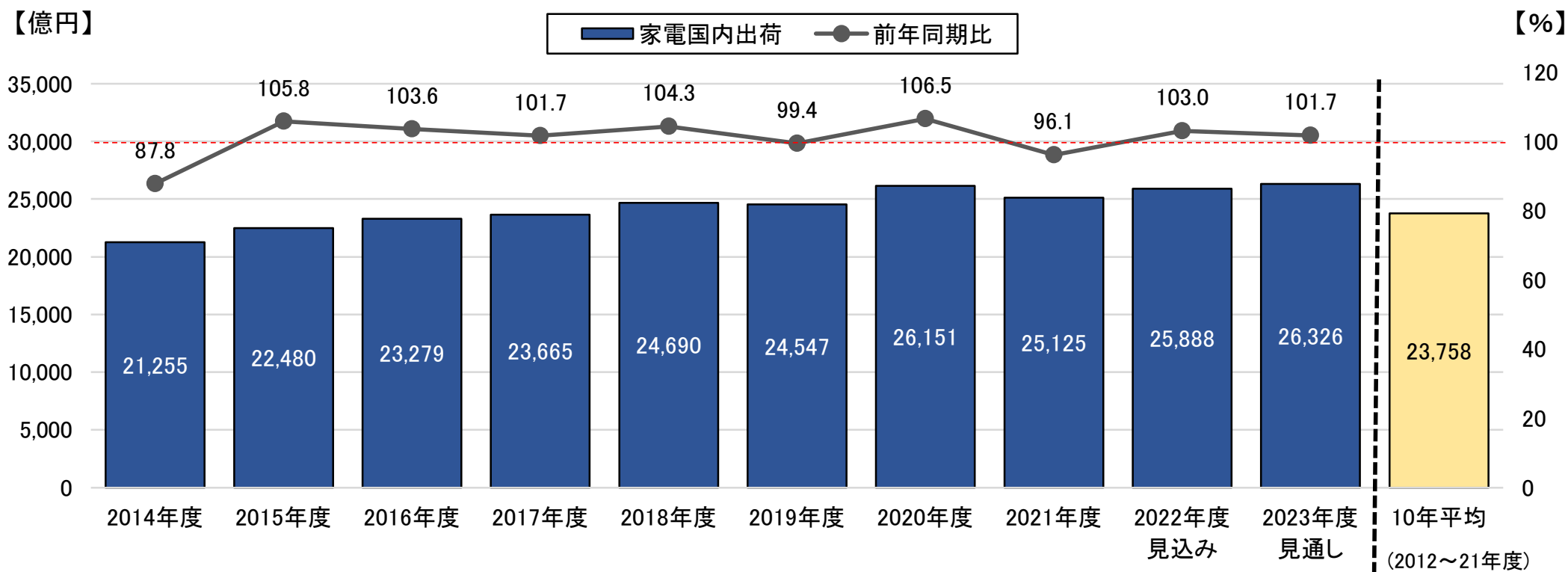
【備考】端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある

4. 【重電機器】国内生産額推移－生産分類別



【出所】実績：経済産業省 生産動態統計／見込み・見通し：JEMA統計

5. 【白物家電機器】国内出荷額推移－年度別



【出所】JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)

6. 【白物家電機器】 国内生産額 見込み/見通し



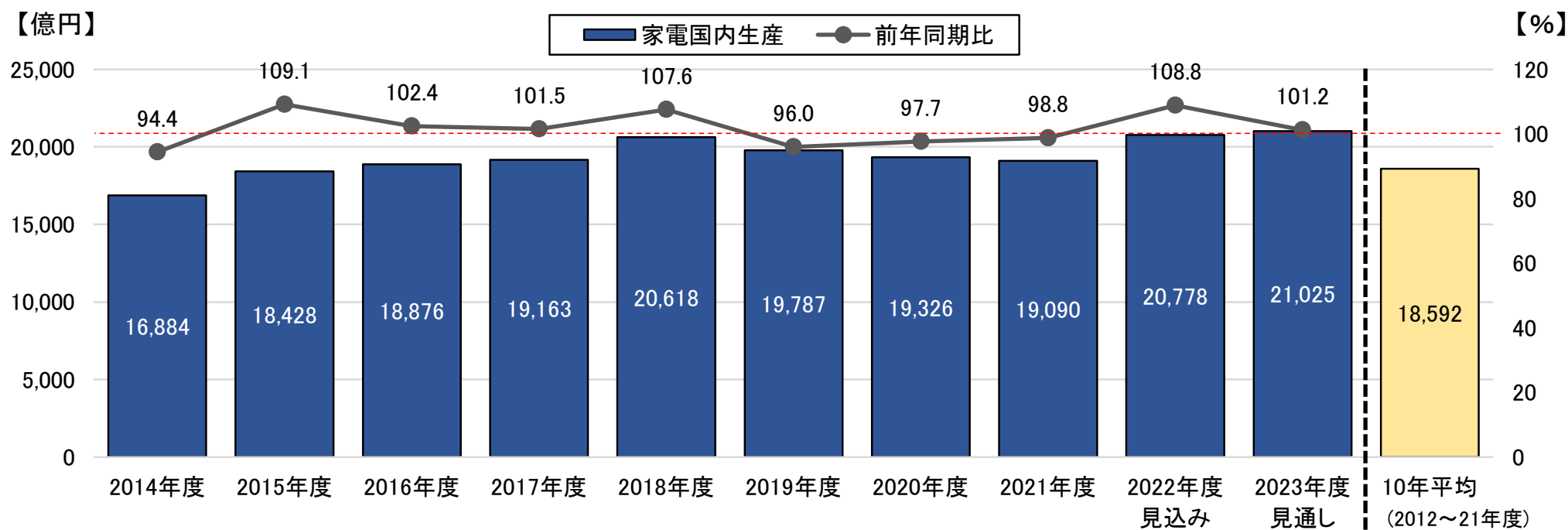
(単位:億円、%)	2022年度 見込み		2023年度 見通し	
	金額	前年度実績比	金額	前年度見込比
白物家電機器合計	20,778	108.8	21,025	101.2
ルームエアコン	5,805	104.8	5,848	100.7
電気冷蔵庫	2,400	106.8	2,467	102.8
食器洗い乾燥機	383	111.6	398	103.9
電気掃除機	534	131.1	547	102.3
電気がま*	595	103.2	595	100.0
その他(上記品目以外)	11,061	110.9	11,171	101.0

出所: 経済産業省 生産動態統計/見込み・見通しはJEMAが策定

【備考】

- 1: 電気がま:保温機能(ジャー)のないものも含む
- 2: 端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある
- 3: 内訳詳細データについては別紙「2023年度電気機器見通し資料」をご参照

7. 【白物家電機器】国内生産額推移－年度別



【出所】実績：経済産業省 生産動態統計／見込み・見通し：JEMA統計